



平成30年3月9日

各 位

会社名 株式会社 大盛工業  
 代表者名 代表取締役社長 和田明彦  
 (コード番号 1844 東証第2部)  
 問合せ先 経理部長 及川光広  
 (TEL. 03 - 6262-9877)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年9月14日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 業績予想の修正について

平成30年7月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年8月1日~平成30年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,210	170	185	154	10.43
今回修正予想 (B)	1,684	189	168	149	10.06
増減額 (B-A)	△525	19	△16	△5	
増減率 (%)	△23.7	11.7	△9.1	△3.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年7月期第2四半期)	1,505	△47	△279	△281	△18.98

平成30年7月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年8月1日~平成30年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,007	161	176	148	10.03
今回修正予想 (B)	1,469	163	151	143	9.65
増減額 (B-A)	△537	2	△24	△5	
増減率 (%)	△26.8	1.4	△13.8	△3.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年7月期第2四半期)	1,493	△28	△260	△262	△17.70

(注) 当社は、不動産賃貸物件の増加に伴い、当第1四半期連結会計期間より「営業外収益」に表示しておりました「不動産賃貸料等」を「不動産事業等売上高」に、「営業外費用」に表示しておりました「不動産賃貸原価」を「不動産

事業等売上原価」に計上する方法に変更しており、前期第2四半期実績は、当該表示方法の変更を遡及適用した組替え後の数値を記載しております。

#### 修正の理由

平成30年7月期第2四半期（累計）連結業績予想は、売上高につきましては、建設事業において施工区域関係者との調整、発注者との設計変更協議等に期間がかかり、予定よりも工事の進捗が遅れたこと並びに不動産事業において当第2四半期に予定していた不動産物件の販売が当第3四半期以降にずれ込んだこと等により525百万円減少し、1,684百万円の見込みです。

営業利益は、土木工事の進捗の遅れ、不動産物件の販売のずれ込みに伴い、予定していた完成工事総利益及び不動産事業等総利益が減少しましたが、一方、建設事業の一部工事において、現場環境の都合により当初予定していた開削施工から収益性の高い推進施工へ施工方法が変更となったことにより予定よりも完成工事総利益が増加したこと並びに保有不動産物件の増加に伴い、当第1四半期連結会計期間より「営業外収益」に表示しておりました「不動産賃貸料等」を「不動産事業等売上高」に、「営業外費用」に表示しておりました「不動産賃貸原価」を「不動産事業等売上原価」に表示を変更したこと等により、19百万円の増加となり、189百万円の見込みです。

経常利益は、建設事業における工事の進捗の遅れ及び不動産物件の販売のずれ込み等による利益の減少により16百万円減少し、168百万円の見込みです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少等により149百万円の見込みです。

当社は、連結業績に占める個別業績の割合が高く、個別業績についても上記理由により公表しました業績予想との大幅な差異が発生したことから、あわせて開示をいたします。

なお、建設事業における工事の進捗の遅れにつきましては、施工区域関係者との調整、発注者との設計変更協議等が終了し、当第2四半期までの進捗の遅れに伴う減少分を当第3四半期以降において回復できる見通しであり、また、ずれ込みました不動産物件の売上につきましても下期に計上できる見通しであることから、通期業績予想に変更はありません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後、さまざまな要因によって記載の見通しとは異なる可能性があります。

以上